2019-20 54th
Rotary クラブ週報
東京城東ロータリークラブ

2020. 6. 29 第2489回例会

会長テーマ 秋山恭一郎
「 仲間を増やそう
そして魅力有るクラブに 」

国際ロータリー 会長
マーク・ダニエル・マローニー
第2580地区 ガバナー
新 本 博 司
第2580地区 幹 事
新 垣 淑 典
(当クラブ担当)
ガバナー補佐：齊藤榮一
東分区幹事：上條隆志

ロータリーは
世界をつなぐ

例会日：毎週月曜日 12:30 ～ 13:30
例会場：東武ホテルレバント東京
〒130-0013 墨田区錦糸 1-2-2 Tel:03-5611-5511
事務局：〒130-0013 墨田区錦糸 1-1-5 A ビル
Tel:03-5637-4605 Fax:03-5637-4611
E-mail : jyoto@club.email.ne.jp

会長：秋山恭一郎 副会長：山田 昇
幹事：今井 邦彦 副幹事：杉田 敬光
会報委員長：篠田 秀樹

2020/6/22(月)
「補助犬と歩む
『誰一人取り残さない社会』への道」
日本補助犬協会代表理事 朴 善子 氏

- 来年7月の受付当番 -
若井君/秋山君/阿部君

2020年6月22日 例会報告

点 鐘
ロータリーソング(清聴) 『それでこそロータリー』
ゲストスピーカー 1名
ゲスト及びビジター 2名
会員出席状況 41名中24名(出席率58.54%)
前々回訂正出席率 100%

ニコニコボックス

○朴善子様、本日の卓話よろしくお願い致します。
秋山恭一郎君・今井邦彦君・山田 昇君
杉田敬光君・奈良康司君・上條隆志君
渡辺孝至君・秦 弘志君・池永憲明君
宇都宮秀雄君・齊藤榮一君
○本日の臨時総会よろしくお願いします。
秋山恭一郎君・今井邦彦君
山田 昇君・杉田敬光君
○お世話になりました。 根本弘道君
小計￥38,000.- 累計￥1,256,000.-

本日の卓話

「 今年度最終例会 」
(夜間例会)

18：00～
東武ホテルレバント東京

次回の卓話

「 引継式・新会長幹事就任挨拶 」

12：20～
山田 昇 新会長・杉田 敬光 新幹事

会員皆様よりのご投稿を随時募集しています！

（右から）　日本補助犬協会
代表理事　朴 善子 氏（丸の内RC前会長）
秘書室　　佐々良 美月 氏
聴導犬訓練士　都合　勝 氏

（右から）　介助犬 ケイちゃん、
盲導犬 エマちゃん、聴導犬 サリーちゃん

一年を顧みて

秋 山 恭一郎 会長

本年度のマーク・ダニエル・マローニー RI 会長の「ロータリーは世界をつなぐ」テーマの下に、城東クラブももっと「つながり」を大切にし、もっと魅力あるクラブにそして『仲間を増やそう そして魅力有るクラブに』を会長テーマとして 1 年間活動をしました。

各委員長の皆様には、世の中の大変な状態にも関わらず、数々の計画立案をして頂き、下記の実績を行う事が出来心から感謝致します。

●臨時総会を開催し今の当クラブに適切と思われる細則の改正を 2 度行った
（若井年度承認、秋山年度実施）
①雑誌委員会、広報委員会を 1 つに「雑誌・広報委員会」設立
②世界社会奉仕委員会を国際奉仕委員会と統合
③何年か後のクラブ運営を考えるクラブビジョン委員会（3 年委員会）の新設
（秋山年度承認、山田年度実施）
①クラブ会費半期 2 万円ずつ計 4 万円の値上げ
②環境保全委員会を社会奉仕委員会に統合
③「ＲＩ標準クラブ定款」変更に伴う修正
④新型コロナウイルス感染症拡大の影響による特例の休会扱い

1．五大奉仕委員会は、フォーラム等各委員長さんの采配で内容の濃い活動をして頂きました。
2．親睦活動委員会は、沖縄での地区大会・親睦旅行と奥様を含めた沢山の方に参加をして頂きました。地区大会では当クラブに 2 つの表彰を頂きました。（出席優秀クラブ 5 位、米山寄付 5000 万円達成クラブ）親睦家族旅行の沖縄アメリカ軍海兵隊基地キャンプキンザ―訪問は思い出に残りました。親睦家族会では東武レバント東京さんの何時に無く美味しい料理、楽しいアトラクションをメインに大勢の家族と楽しい一時を過ごしました。
3．ガバナー公式訪問は、ガバナー方針により、向島クラブとの合同例会での公式訪問で、向島クラブとも大変スムーズに開催が出来ました。
4．2 月からの新型コロナウイルス蔓延による外出自粛、全国規模の「緊急事態宣言」を経て例会場の休館と、3 月からのクラブ行事、例会は中止せざる得ないと考えました。創立 54 年記念例会、米山梅吉記念館訪問、観藤会夜間例会、米山奨学生歓送迎会、等々、以上は全て予定を立たものの開催寸前の中止でした。
5．新型コロナウイルスに関連する奉仕活動として当クラブの行事、例会休会等により抑えられた予算での、墨東病院に寄贈を考えております

が、現在進行中であり、寄贈品のリクエストが決まり次第寄贈したいと思っております。

当クラブより地区へ活躍頂きました齊藤さん、上條さん、池永さん、奈良さん、宇都宮さん、秦さんの６名の皆様、大変お疲れ様でした。齊藤さん、上條さんのご指導のお陰で、他クラブとも懇親を深め、有意義な関係を保つ事ができ、感謝申し上げます。

私の１年任期の中で今年度のテーマ「仲間を増やそうそして魅力有るクラブに」である『仲間』を思うように増やす事が出来ず、大変残念です。

１年無事に終わったと、いさぎよく終わりたい安堵感と、コロナによる消化不良の物足りなさとが交互しますが、創立 54 年目のバトンを次年度 55 年目に引き渡す事が出来るのも、全てが理事役員の皆様、委員長の皆様、並びに会員の皆様のお陰です。心より感謝申し上げます！

そして最後に、今井さん、天尾さん１年間有難う御座いました。

一年を顧みて

今 井 邦 彦 幹事

昨年７月１日の幹事就任挨拶から早くも一年が経とうとしています。会員のみなさま、理事役員のみなさま、事務局の天尾さんにはクラブの運営、行事の催行にあたってご助言やご協力をいただき、誠にありがとうございました。幹事の任を無事終えられることに心より御礼申し上げます。

１月以降の下半期の出来事を中心に振り返って参ります。特に下半期はコロナ禍を抜きにして語ることはできません。

１月９日の新年初例会では、恒例の写真撮影のあと獅子舞を見ながらにぎやかに新年を祝いました。私がロータリークラブで一番好きな行事の一つです。1 月 27 日の職業奉仕の第３回クラブフォーラムは、川端勢至氏による「ほめ達！」講座でした。会員増強をサブテーマとした公開形式とし、とても熱のこもった会になりました。フォーラムの後、職場や家庭に限らず人との接し方が変わった？のは言うまでもありません。2 月 17 日の国際奉仕の第４回クラブフォーラムでは、安並潤氏による SDG s に関する講演を聴き、SDG s への理解を深めることができたと共に、SDG s がロータリーの思想と相容れるものだと感じました。この２回のフォーラムは、第１・２回のテーブルディスカッション方式から形式が変化し、新しいクラブフォーラムの形を模索するものとなりました。また、30 分間という通常の卓話時間を超えて素晴らしいお話を聴くことができるというのは、可能性が一つ広がったとも言えます。

話は前後しますが、2 月 12 ～ 15 日にかけて地区大会と親睦旅行で沖縄を訪問し、空港に降り立った一行を迎えてくれたのは初夏のような陽気でした。期間中は天気にもおおむね恵まれ、国際ロータリー会長代理歓迎晩餐会、地区大会本会議、会員とご家族揃っての琉球舞踊を見ながらの会食、米軍基地見学、沖縄観光、ゴルフという各種プログラムに多くの会員、ご家族のご参加をいただいて、大変思い出深いものになったと思います。

この親睦旅行の直後からコロナウィルスの感染拡大が深刻となり、親睦を旨とするクラブの活動は大きな影響を受けました。例会の休会や諸行事の取り止めが続くことは前例がなく、異例ずくめと聞いております。一度は延期した行事が情勢の悪化により中止に追い込まれるなど、刻々と変化する行事日程をもう少しきめ細やかにお伝えする方法があったのではと反省をしております。またこの間、そして例会の再会にあたって柔軟かつ念入りな対応をしてくださった東武ホテルさんにはとても感謝しております。行事関係では、皆様が楽しみにしてくださっていながら実現しなかった米山梅吉記念館の見学会についてもコロナ禍が去れば必ず実現できると信じています。

あらためて振り返りますと、今年度の秋山会長のテーマ『仲間を増やそう　そして魅力有るクラブに』を念頭に秋山会長を盛り立てなければならないところを、いつも私の足りないところに手を差し伸べて引っ張り上げてくださいました。心より感謝を申し上げます。そして、齊藤ガバナー補佐、上條分区幹事には地区でのご多忙にもかかわらず、いつも気にかけてくださり、ご指導頂きましてありがとうございました。

これからもロータリアンとして職業人として積極的に参加をしたいと思います。これからもどうかよろしくお願いいたします。

▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽

RI ニュース：2020. 5.31

▲△▲△▲△▲△▲△▲△▲△▲△▲△▲△▲△

ロータリークラブが新型コロナウイルスとの闘いを支援

新型コロナウイルスの猛威により世界に不安と困難な状況が広がる中、ロータリー会員と参加者たちが画期的な方法で支援し、離れていても手を差し伸べる方法があることを示しています。

奉仕と行動を大切にするロータリー会員は、地域社会で率先してプロジェクトを立ち上げ、支援を必要とする人びとへの援助を行っています。しかし、多くの地域で生活が急変しており、保健専門家らは、人びとが互いの距離を空け、感染力の強いこのウイルスの拡大防止のために必要であれば自己隔離することを呼びかけています。

「疾病の予防と治療」はロータリーの主な活動分野の一つです。これまでも会員は、適切な手洗いや感染予防法について啓発活動を行い、医療従事者への研修や医療機器を提供してきました。現在は、各地の保健当局による新型コロナウイルス情報の周知を援助し、パンデミック（世界的大流行）によって多大な負担を強いられている医療施設や病院に防護用品を寄贈するといった活動を行っています。

現在までに、以下のようなさまざまな方法で会員が地域社会を支援しています：

・感染の被害が最も大きな国の一つであるイタリアでは、第 2080 地区内のクラブが寄付を募り、多くの患者をかかえる病院のために人工呼吸器と防護用品を購入しました。さらに、中国での流行が最悪となった際には、現地での感染拡大防止のため、同地区のクラブがマスク購入用に 2 万 1 千ドル以上を集めました。

・同じくイタリアの第 2041 地区はネットで寄付を募り、ミラノの催事場に建てられた 400 床の病院で新型コロナウイルス患者の治療にあたる医師や看護師のために、防護用品を購入しました。

・香港では、ロータリークラブが資金を集めて医療品を購入し、公営住宅を訪問してマスクと殺菌剤を配りました。

・スリランカのロータリークラブは、空港トイレに体温計を設置したほか、コロナウイルスに関する認識向上のポスターを作成して全国の学校に配りました。

・パキスタンのカラチ・ダラクシャン・ロータリークラブは、数千枚のマスクを地元市民に配布しました。

・第 3700 地区（韓国）内のクラブは、赤十字に 155,000 ドルを寄付しました。

・ナイジェリア、アクワイボム州のロータリークラブは、ウイルスの恐ろしさを伝えるキャンペーンを実施。地元の 2 つの学校でコロナウイルスによる病気と予防法について指導した他、健康維持のための衛生習慣に関する資料を配布しました。

・米国（メリーランド州）のメトロ・ベテスダ・ロータリークラブでは、各ボランティアが毎週、隔離状態にある一人暮らしの市民に連絡して状況を確認し、必要なものがないかどうかを尋ねています。会員はまた、このような人びとの玄関先に花を届ける活動も行っています。

危機への対応にテクノロジーを活用

・直接会う例会や行事を中止・延期したクラブと地区は、親睦を保つ独自の方法を見出し、奉仕活動に工夫を凝らすことでパンデミックに対応しています。

・フェニーチェ・デル・トロント・ロータリー E クラブは、3 月 11 日に行ったオンライン例会に一般の人びとを招待。ウイルス学者を講演者に招き、コロナウイルスの感染経路や予防方法に対する知識を広めました。

・シンガポール・ロータリークラブはウェビナーを実施し、疫学者と感染症専門家を招いて、コロナウイルスとパンデミックに関する疑問や懸念に答えてもらいました。

・イーストジェファーソン・カウンティ・ロータリークラブ（米国ワシントン州）は、クラウドファンディングを活用し、宅配サービスを行う地元の食料品店、薬局、レストランのオンラインリストを作りました

・ヘレフォード（英国）のロータリー会員は、支援を必要とする人と、支援を提供できる人・団体をつなぐために、ロータリー会員や一般の人びとから成るフェイスブックのグループを立ち上げました。3 月 14 日に開始して以来、6,900 人以上がグループに参加しています。